

月刊 永藤タイムズ

「宿泊税」導入を検討へ

昨今、大阪府を訪れる外国人観光客が急増しています。平成27年の一年間の来阪外国人旅行者数は716万人と、4年前の158万人と比べて実に5倍弱にまで達しています。大阪を訪れる方々にもっと満足してもらって大阪が繰り返し訪問地として選ばれるためには多言語対応や分かりやすい案内板、WiFi設置など受け入れ環境の整備を進める必要があります。そのため、安定的な財源が求められます。そこで現在、府内の宿泊施設に一定以上の室料で宿泊する方を対象に「宿泊税」を納めていただく制度が検討されています。

今後、大阪府議会2月定例会での審議を経て可決されれば7月に条例を交付し、平成29年1月の施行という流れを想定しています。

税率(案)

| 宿泊料金(1人1泊) | 税率 |
|--------------------|------|
| 10,000円以上15,000円未満 | 100円 |
| 15,000円以上20,000円未満 | 200円 |
| 20,000円以上 | 300円 |

「自転車条例」議論はじまる

平成27年中の府内における自転車関連交通事故による死者数は50人に達し、平成26年に比べて16人の大幅増加となりました。特に死者数の約5割が高齢者で、その死因の約8割が頭部損傷によるものです。そこで、「大阪府、事業者、交通安全団体および府民が協働して自転車に係る交通安全を確保し、自転車を適正に利用することを促進する」、「自転車の交通に係る事故の防止および被害者の保護を図る」ことを目的に、条例の制定が検討されています。

「大阪府自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例(仮称案)」

主な内容:

- ◆各主体の取り組み目的を明確にする
- ◆学校長、保護者、事業者が交通安全教育を習慣化する
- ◆安全確保のため、点検整備や高齢者のヘルメット着用を進める
- ◆自転車損害賠償保険に加入を義務化する



これら3つの提案はいずれも2月25日から開催される大阪府議会2月定例会で審議される予定です。

現在の大阪府の教育政策は、公立学校は「教育委員会」、私立学校・大学は「府民文化部(私学大学課)」が管轄していて、どちらも教育施策であるにも関わらず行政組織も議会の常任委員会も異なっています。この状況を改善するために、大阪府の教育行政を一元化する方向で検討が進められています。現在の案では教育委員会の下に「教育庁」が設置され、公立学校・私立学校とも担当することが想定されています。メリットとしては指揮命令の一本化による意思決定の迅速さが見込めること、公立・私立両方からの視点での政策立案が可能になること。また課題としては、私立学校の自主性をどのように確保するかなどが挙がっています。

「教育庁」設置なるか



大阪府議会議員
永藤英機です。

大阪への外国人観光客



1月20日に開催された「政務活動費検査等協議会」にて、大阪府議会の政務活動費について新たに2つのルールが定められることになりました(右の新聞記事)。中でも、議員が雇用する政務活動スタッフに対しての「給与支払報告書(写し)」の公開は全都道府県で初めての試みです。

昨今、政務活動費の使途やあり方を巡ってテレビや新聞などで取り上げられることが多くなっています。大阪府議会ではこれまでも政務活動費の使用に関する厳格化や1円以上の全ての支出に対する領収書の添付義務付けはもちろんです。弁護士や公認会計士などの有識者や各会派の代表が参加する専門の検査協議会の設置、さらに昨年7月には報告書の通常の閲覧に加えインターネットでの公開を開始するなど、政務活動費について全国の議会の中でもトップレベルと言える改革を行ってきました。今回のルール設定はさらなる透明性を図るものです。議員自らが身を正し、日々の活動について府民の皆さんにご理解をいただけるように今後も取り組みを進めていきます。

議員事務所員の親族禁止を確認

大阪府議会協議会

大阪府議会の各会派代表らでつくる「政務活動費検査等協議会」は20日、議員の事務所員の親族雇用を禁止し、雇用実態が正確に確認できる給与支払報告書の提出を義務づける運用手引の改正案を確認した。2月の議会運営委員会理事会で正式決定され、来年度から

適用される見通し。

改正案では、議員が配偶者ら「生計を一にする親族」を事務所職員として雇用し、人件費などを政治費用に充当することを禁止。また、雇用実態を正確に確認するため、市町村などに提出する給与支払報告書のコピーの提出を義務づける。協議会の永藤英機座長(大阪維新の会府議)は「さらに制度の透明化を前に進め、府民の理解を得たい」と話した。

1月20日産経新聞(夕刊)より

● 出前 府政 報告会、行います! ●



3名様以上お集まりの場合にお伺いして、府政の現状について直接お伝えします。右下に記載の電話、FAX、メールなどでご相談ください。(会費無料)

月刊永藤タイムズバックナンバー案内

月刊永藤タイムズのバックナンバーをホームページにて公開しています。

<http://www.nagafujihideki.com>

ながふじひでき 検索



毎月発行しています!

コラム「2月議会に向けて」

2月25日から、今年最初の大阪府議会「2月定例会」が始まります。既に1月から今月号で特集したような数々の議案の説明聴取をはじめ、政調役員会や議員団での意見交換会など慌ただしい日々が続いています。この文章を書いている二月初旬は、1か月後に迫った代表質問の項目・内容の作成が大きな仕事です(※私は大阪維新の会・府議団の副政調会長として会派の主要政策の検討・立案に関わっています)。また2月定例会は、3兆円を超える大阪府の平成28年度予算(※一般会計)を審議する議会でもあります。2月25日の開会后、3月1日から大阪維新の会を皮切りにして各会派による代表質問、続いて3月4日から8日にかけては議員個人の一般質問、3月10日から22日は専門分野ごとの常任委員会などを経て3月24日の採決(閉会日)と続きます。大阪府の事業が効果的・効率的に行われるように、予算が適切なものであるように議員としての役割を全うすべく真摯に取り組めます。※本会議、常任委員会(知事質問)は大阪府庁(本館)にて傍聴いただけます。また、上記の府政報告会でもお話ししますのでお気軽にお申し込みください。

【永藤英機 プロフィール】

昭和51年7月13日生まれ(39歳)。大阪府立大学経済学部を卒業後、SEとしてコンピュータ会社勤務、その後ファイナンシャルプランナーとして株式会社を設立。2008年2月に橋下知事が誕生し、「今なら大阪が本当に変わるかもしれない」と共に大阪府政改革に取り組むことを決意。2015年4月、大阪府議会議員に二期目の当選。(堺市堺区選出)大阪維新の会大阪府議団・副政調会長



■ 府政に関する相談やお問い合わせは

大阪維新の会 大阪府議会議員

永藤英機事務所 まで!

〒590-0971 堺市堺区栄橋町1丁7-3 栄橋ビル4階

TEL (072)228-3331 WEB: <http://nagafujihideki.com/>

FAX: (072)344-5676 MAIL: info@nagafujihideki.com



ご意見、ご感想をお寄せ下さい!

